

実務実習（研修 B）平成 28 年度受講者等の声

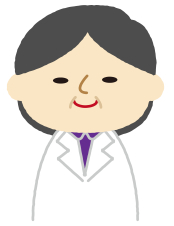
《受講者の声》

改めて、薬局業務の大変さを実感しました。

記入事項やはり紙のひとつひとつに意味のあることを知りました。

なるべく多くの人目で確認することで間違いをなくすシステムがしっかりなされていると感じました。

ハイリスク医薬品など特に注意しなければならないものについては常に念頭におくべきと学びました。



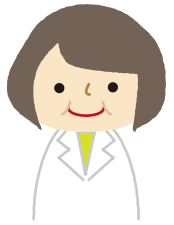
受講者 F さん（52 歳）女性（ブランク約 10 年）

投薬・服薬指導をした。久しぶりなので、とてもドキドキした。薬歴も記入してみたが、いざ、記入してみると、コメントをどう書いていいのか、悩んだ。

処方箋のチェックをすごくしっかりされてて、まだ、自分にはそこまで余裕がないなあと思いました。

がんばります。薬歴の記録方法について説明を受けた。患者さんと対話をしながら、いろんな情報を記録していて、すごいと思いました。話し方や声のトーンもとても聞きやすく、見習いたいです。健康サポート薬局やかかりつけ薬剤師など、最近の業務の話聞き、地域密着の薬局に時代は変わったのだなと思いました。発注等も自動発注ができ、自分の頃との違いをしみじみ思いました。

実習ありがとうございました。



受講者 G さん（46 歳）女性（ブランク約 5 年）

散剤の分包ヘラの使い方が難しい練習が必要。錠剤がもとのたまに戻ってないことがあり、注意したい。

受講者 H さん（40 歳）男性（ブランク約 5 年）



徐々に医療用医薬品を間近に見て、身の引き締まる思いがしました。品目の多さに圧倒された。

患者様によって先発品での調剤や、後発品での調剤が異なるので複雑だと思った。

まだまだ知らない薬が多いので、理解を深めたいと思う。

受講者 I さん（38 歳）女性（ブランク約 8 年）



《協力薬局指導薬剤師の声》



薬局アイテムの流れの中で、今まで知っていた事、新たに知った事を確認してゆくとよいと思う。

自分の得意の処方を見つめてゆくと良いと思う。

調剤・予製在庫管理。トリアージできている。保険薬薬剤師療養担当規則と調剤報酬点数を理解しておくとういと思う。実習、まじめによくとりくまれたと思います。



久しぶりの調剤だと思いますが、マジメに良く出来ている。

一包化出来ないものには、00錠以外の理由もあるということ再度説明しました。

薬歴の使用法や投薬時の事などやっていけるようにしていきます。

投薬の経験も大丈夫そうなので、投薬を実習出来たらしたい。



経験を積み重ねること、落ち着いて確認しましょう。添付文書の重要性を理解しましょう。



初めて1400種の薬剤に不安もあったようですが、すぐに慣れます。

頑張ってください。ジェネリックの意向は時として変わります。定期的に希望を確認しつつ調剤します。